

事務事業名	雲南市農業担い手フォローアップ事業	所属部	農林振興部	所属課	農政課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉	所属G	担い手支援G	課長名	細木浩之
	施策名	(34)農業の振興	担当者名	渡部裕一郎	電話番号	0854-40-1051
	目的対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	2415
	基本事業	(098)担い手の育成	予算科目	0:1:3:0:0:1 0:5:2:5:8:7	大事業名	農業振興総務管理事業
目的対象	農家・市民	意図	農業の担い手になる。	中事業名	農業担い手フォローアップ事業補助金	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織 ・認定農業者 ・認定新規就農者 	経営改善等に必要な機械・施設等の整備に要する費用の一部を支援することにより、農業経営の安定化と地域農業の継続的な発展を目指す。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度 ~ R4 年度)	集落営農組織等が行う機械等の整備に係る経費に対して助成する。 補助率: 事業費の1/2(上限35万円。広域連携組織は上限50万円) スマート農業加算: スマート農業に取り組むため機械等を整備する場合は、上限額に20万円上乗せする
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
事前の要望調査において、令和3年度は54名(人・組織)が活用された。引き続き機械導入・更新の補助を行い、持続性の高い農業を推進する。	令和2年度からスマート農業加算を追加した。担い手や人材が不足している中、ドローンやリモコン除草機などの省力化農業機械の需要が高まってきている。加算により高価格な農業機械への支援を手厚くし、持続性の高い農業への移行を促す。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 農業所得総額	億円	▲5.7	▲6.3	▲7.2	▲7.0
イ JALまね雲南地区本部農畜産物販売額(雲南市分)	億円	22.4	20.0	17.8	17.8
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
■ R3年度実績 ・補助金交付者数: 54名(人・組織) ・補助金交付額: 14,972千円 (補助対象事業費 73,011千円)	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円	2,900		
		その他	千円			
		一般財源	千円	16,518	17,818	14,972
事業費計		千円	19,418	17,818	14,972	5,050

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	担い手等への支援を通じて地域農業の維持発展に繋がった。
② 事業実施するうえでの課題	省力化や効率化に必要な機械整備等を支援することにより、担い手の経営規模の維持向上及び所得向上をめざす事業であり、積極的に支援する必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・需要の高い事業であるため、継続して運用ができるよう努める。